

はじめに

英語を話すことは、英語学習の主要な目的でありながら、上達が遅れてしまいがちな側面です。実際、英語を継続的に勉強していて、読むことは得意で、リスニングもかなりできるのに会話となるとからっきしという人が多いものです。

外国語の習得にはふたつの面があります。文法や語彙など未知のことを覚え知識を広げていく学習的な側面と、学習で獲得した知識を、知識で終わらせず自在に使いこなせるようにするトレーニングとしての側面です。つまり「よくわかっていること」を「できること」に変えていくことです。

英語を話すための第一歩は、頭ではよくわかっている基本文型を自由に操作できるようになることです。どんなに難解な英文を読み解けても、しゃれた表現をいかにたくさん知っていても簡単な英文が口から出てこなければ、英語を話すことはできないからです。

英文を考え込むことなく自動的にらくらくと作り出す能力、いわば「英作文回路」は発想の転換をして必要なトレーニングをしさえすれば、ある程度の基礎知識がある人ならば比較的短期間で開発することができます。これが本書で提案する、簡単な英文をスピーディーに大量に作っていく「瞬間英作文トレーニング」です。

瞬間英作文トレーニングの第一段階では、中学レベルにターゲットを絞った文型ごとにスピーディーにたくさんの英文を作っていくことが非常に効果的です。しかし、従来の短文集、文例集の多くは表

現集の役割も担わされていることが多く、文型こそ基礎レベルであるものの、未知の単語・表現が散りばめられているため、記憶の負担が生じ、簡単にたくさんの英文を作るということに集中しにくい場合が少なくありません。一方で、語彙・表現の易しさから、中学生用学習参考書にテキストを求めると、高校入試用文型集などで200～300文程度にまとめられてしまい、今度は十分なトレーニングのためにはボリュームに欠けてしまいます。

このように瞬間英作文トレーニングの初心者用としては、帯に短したすきに長し、という素材が多いのですが、本書の重要な役割のひとつはこのような隙間を埋めることです。本書の例文中には、学校で英語を学んだ人が知らないような単語・表現はないので、新しい語句の記憶という負担はまったくかからず、文型練習に専念できます。また1文型あたり10文、合計790文とスタートとしてはまずまずのボリュームです。加えて、本書にはポーズの入った音源がついています。日本語文が流れた後のポーズの間に即座に英文を言う練習をすると、さらに立体的な瞬間英作文トレーニングができます。

本書とともに、ぜひ、効果抜群の瞬間英作文トレーニングを始めみてください。

森沢洋介